

## 熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会 設 立 趣 意 書

熊本市は、熊本城を中心に都市機能が充実した中心市街地と、豊かな自然や良好な農漁村地域等で形成される、九州中央における広域交流の主要都市である。

平成 28 年の熊本地震を踏まえ、地元経済界では、持続的な都市の発展はもとより、熊本地震からの創造的復興を実現させるため、都市圏交通網強化プロジェクト等を反映した「熊本市中心市街地グランドデザイン 2050」を取りまとめたところ。

このような中、都市の発展のために不可欠である広域的な道路ネットワークの形成と円滑な道路交通を確保するため、これまで熊本県内の高規格道路が着実に整備され、熊本と九州各県や県内各都市との連携・交流機能の強化が図られてきた。

一方、熊本都市圏においては、慢性的な交通渋滞により、熊本市中心部と九州縦貫自動車道や阿蘇くまもと空港などの交通拠点のアクセス性が非常に低く、都市圏内の渋滞解消が長年の課題となっている。

これらの状況を踏まえて、熊本県と熊本市は、本年 6 月に策定された「熊本県新広域道路交通計画」において「10 分・20 分構想」を掲げ、交通拠点等へアクセスする「熊本都市圏北連絡道路」、「熊本都市圏南連絡道路」、「熊本空港連絡道路」の 3 つの路線を高規格道路として位置づけており、地元経済界としても都市圏の高規格道路整備に大いに期待を寄せている。

我々は「10 分・20 分構想」の一日も早い実現に向け、「熊本都市圏道路経済効果等検討会」を設立し、構想の実現が熊本県のみならず九州全体へ与える様々な経済効果について調査するとともに、市民や道路利用者の理解を深め、地域の機運醸成に繋がる効果的な取り組みを行う。